



# くにちは つるおか

No. 108

## ——リノベーションで新しいまちづくり

たけうち まさよし  
**竹内 昌義** さん



建築家。東北芸術工科大学教授。建築家ユニット「みかんぐみ」共同主宰。「マルヤガーデンズ」(鹿児島市)などのリノベーションを手掛ける。2009年に同大学でエコハウスの研究を開始。再生可能エネルギーと県産木材を活用した「山形エコハウス」の設計に携わる。「鶴岡リノベーションスクール」総合プロデューサーとして来鶴。神奈川県出身。

リノベーションとは、一般的に時代や用途に合わせて、既存の建物を新しく改修することです。ただ、ここで言うリノベーションは、建物をどう使うか、どう生かすかという、内容を中心として考えるリノベーションです。例えば、空き家をどう活用するかを考えたり、使われていない施設の再生の仕方を探ったり。新しい用途を見出していくことが特徴です。

鶴岡には、リノベーションすることでもっと人が集まる場所になる建物が点在していると感じます。天祭祭の日は何ものすごく混みますよね。それは、祭りに人を集める魅力があるからだと思います。人々が心をひかれる「何か」がある場所には、おのずと人が集まってきます。街中にそういう場所がたくさんあって、それらが互いに結びつくことで、その地域全体が活性化することにつながっていきます。

では、その「何か」とは何でしょうか。それは地元

の人の目にしか映らないものもあるし、私たち外部の人の目にこそ映るものもある。それぞれの目線から見える魅力と欠点を自由に出し合って、これからのまちづくりに生かしていこうとするのが「鶴岡リノベーションスクール」です。3回のトークカフェと、それに続くリノベーションスクールで、建物単体をリノベーションするだけではなく、地域全体を活性化していくためのヒントを、地元の人と一緒に見付けていけたらいいなと思っています。

建物をまちの財産として捉え、地域住民と協力しながら住みやすいまちを創り出す「現代版家守(やもり)」の役割も重要だと考えています。そしてリノベーションに携わる人や動きが活発になるよう、行政がバックアップすることが必要です。このような環境を整えば、また一味違う鶴岡の魅力が生まれてくるのではないのでしょうか。リノベーションスクールが、鶴岡の新しいまちづくりを進めるきっかけの一つになればうれしいですね。



「鶴岡リノベーションスクール」第1回トークカフェの様子(7月3日/江鶴亭)

①若年者無料職業紹介 ハローワーク

◎内容

相談室隣)

◎開設場所 市役

所本所1階(総合

午後4時

◎開設日時 月曜～金曜日(祝日

及び年末年始を除く) 午前9時～

午後4時

用ください。

介等を行っています。気軽にご利用

ください。

用ください。

# 声

voice

市への意見や質問、広報を読んだ感想などをお寄せください。

◎送り先 本所総務課

☎25-2111内線316

